夢の翼

H 2 7 . 9 . 3 (木) [第33号]

☆ 『高2の2学期』 ～第2学期のスタートにあたって～

2学期が始まりました。今学期は、9/18(金)・19(土)に文化祭、10/1(木)に体育祭という学校行事に加えて、11/12(木)～15(日)には修学旅行があります。行事に積極的に取り組みながら、**自己の進路実現**のために、**今自分は何を為すべきか**を常に考えて日々を過ごして欲しいと思います。また、部活動では3年生の先輩から引き継いだ**部活動の中心**として新人大会などでの活躍が大いに期待されます。高校生活の中でも最も充実したこの時期を、精一杯過ごす事により、悔いの残らない、納得できる時期としましょう。

☆ 『夏休みを振り返る！』 ～ジャズ部&吹奏楽部～

今年の夏休みに行われた2つの演奏会を振り返ってみたいと思います。まず、7/26(日)に栄町の【ふれあいプラザさかえ】で行われた**ジャズオーケストラ部『第27回フェアウェルコンサート』**(引退コンサート)は、様々な仮装で幕開けし、20曲以上の演奏が、あつという間に感じられた2時間半のステージでした。また、8/9(日)には富里中央公民館で**吹奏楽部の『第2回定期演奏会』**が行われました。3部構成のステージは、それぞれに工夫を凝らした内容で、この1年間で大きく成長した生徒の姿が伝わってくる感動的な演奏会でした。

☆ 台湾学⑳ 『児玉源太郎と後藤新平』

修学旅行3日目に見学する『二二八記念館』がある二二八和平公園内に国立台湾博物館があります。その3階ドームの部分に**第4代台湾総督の児玉源太郎**と**民政長官後藤新平**の銅像があります。1895(明治28)年に日清戦争の結果台湾は日本に割譲され、1945年まで日本の植民地として統治されました。児玉源太郎は、歴代の台湾総督の中では最も任期の長い(1898～1906)総督でした。土地改革、衛生環境改善、アヘン根絶、学校教育、産業育成等々の台湾近代化の基礎は児玉と彼の補佐役であった後藤新平によるものでした。医師出身の後藤は、**社会衛生を重視**し、アヘンに高率の税をかけ、吸引者を徐々に減らすと共に、その税収を衛生改善に当てたのです。また、後藤は「風土病の地」と呼ばれた**台湾の悪疫予防**のために、上下水道を完備し、主要道路は舗装して、深い側溝を作り、汚水雨水の排出を速やかにし、ほとんど都市の形をなしていなかった台北で大都市計画を実行し、**整然とした清潔な市街を作り上げた**のです。